

松本障害保健福祉圏域自立支援協議会 部会・プロジェクト議事録

<p>部会・プロジェクト名 第2回地域自立支援協議会プロジェクト</p>	<p>開催日：令和3年8月19日(木) 時間：9:30~10:25 場所：ZOOM</p>
<p>参加者構成機関名 松本市(澤田)、塩尻市(大村)、筑北村(洞)、基幹相談支援センター(大森、東條、紅林、海老原)、ケ・セラ(西村)、ハートラインまつもと(諏訪)、塩尻市社会福祉協議会(百瀬)、中信社会福祉協会(板花、事務局 山口)、アルプス福祉会(片桐)、松本保健福祉事務所 福祉課(飯島)</p>	
<p>次第 1、第1回PJ会議からの経過 2、市町村部会への打診及び進捗状況(澤田補佐より) 3、意見交換 4、その他</p>	

<p><b>会議内容</b></p> <p>1、第1回PJ会議からの経過</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度の議論を第1回では振り返った。昨年度議論はできたので、あとは行政の方針が問段階と感じている。コアメンバーでは3回ほど打ち合わせをしてきた。</li> </ul> <p>2、市町村部会への打診及び進捗状況(澤田課長補佐)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・画面共有あり。3市で意見交換を実施した。(別紙)</li> <li>・エリア、部会の位置づけ、県協議会との連携が課題に挙がっている。</li> <li>・各市の係長クラスが集まって検討をしていく。事務レベルで検討して再度打ち合わせを行っていく。</li> </ul> <p>3、意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹相談支援センター 機能強化コーディネーター 海老原 <ul style="list-style-type: none"> <li>質問 松本市では基幹に所長や事務局員に市職員を派遣するという提案だが、委託先に派遣がかなうのか。担当者は専属になるのか?</li> <li>松本市 澤田課長補佐 →直営で実施等、方法はいくつかある。広域となると難しく、まだ検討中。松本市としては専従配置を検討している。</li> </ul> </li> <li>・塩尻市社会福祉協議会 百瀬 <ul style="list-style-type: none"> <li>エリアの分割は地域の特性に応じて設けることは賛成。そのようになると協議会の音頭取りが誰になるのか。村の意見はどのような内容が出ているのか。</li> <li>筑北村 洞係長 →まだ具体的にどこが音頭取りになるのかは協議していないが、筑北3村の連絡会はあるぶととも実施をしている。それが地域協議会にあたるのではないかと考えている。実態は既にある。</li> </ul> </li> <li>・基幹相談支援センター 機能強化コーディネーター 紅林 <ul style="list-style-type: none"> <li>行政職員の出向はここ数年の事業所の状況を考えると必要だと思う。各地域の基幹相談支援センターを持たせるのが良いと思う。圏域は必要な時に集まるので良いと思う。</li> </ul> </li> </ul>
--

・基幹相談支援センター 機能強化コーディネーター 東 條

協議会は実際には、既にエリアで話し合いの場がある。形はそれに合わせればよいと思う。行政からの出向という基幹のやり方は、ぜひ進めていただきたい。

・塩尻市 福祉課 大 村

塩尻市では福祉課職員間でこの課題について情報共有し、課題の洗い出しを行った。地域協議会自体は今の塩尻市朝日村山形村の協議会で良いと話している。子ども部会は松本市に資源が集中しているので、そことの連携がうまく取れなくなるのではないかと、心配の意見が出ていた。そこは圏域として考えることだと思う。事務局機能をどうするかは再考が必要。委託先に職員を出向させることには議論が必要。

・松本保健福祉事務所 福祉課 飯 島

正直提案には戸惑っている。他圏域での保健福祉事務所の協議会への関わりは情報収集して検討したい。具体的にどのようなことをどの程度役割を持つのか。

・特定非営利活動法人 ハートラインまつもと 諏 訪

行政がやる場に事業所が出向する。地域協議会同士の連絡・連携をどのように作っていくのか。目的で繋がっているということを文章化していくことが大事。

・基幹相談支援センター 所長 大 森

協議会の連絡会は、県の地方事務所と協力して松本市でも担っていければと思う。

・中信社会福祉協会(事務局) 板 花

来年度の事務局をどうすれば良いかが思う事。

・松本市 障害福祉課 課長補佐 澤 田

これらの意見を基に行政の事務レベルで話をしたい。範囲が広いので、地域毎の課題と広域の課題を整理して形を作っていければよいと思う。

・特定非営利活動法人 ケ・セラ 西 村

改めて何のために地域協議会があるのかを考えながら協議を進めていきたい。

#### 4. その他

・後日、3市打合せ資料と第2回目の議事録をプロジェクトメンバーへ送付をします。

次回開催は未定。